

【山崎主宰の俳句】

恙なきか

山崎 聰

降るでなく照るでもなくて田の蛙

天井の抜け落ちる夢八月尽

青空を見てから本気豆の蔓

麻布狸穴台風の日曜日

六日町十日町合歓淡き街

総門をひづめ夏々日の盛り

蛇交む退屈しかし世は平和

サングラスこの先女人禁制か

遠景のしきりに揺れる立秋以後

河村四響さんへ

恙なきか翳濃き夏の多摩杉山